

東村山市第6次地域福祉活動計画

LOVE

(WE ♥ 東村山プラン) episode2



【報告者】

東村山市第6次地域福祉活動計画推進委員会

委員長 鳥本 洋一

副委員長 柴崎 愛夏

地域福祉活動計画ってなに？

地域住民が身近な生活課題・地域課題に

✓ 気づき



✓ 解決するための方法を考え



✓ 主体的に行動する



『住民活動計画』と呼ばれています

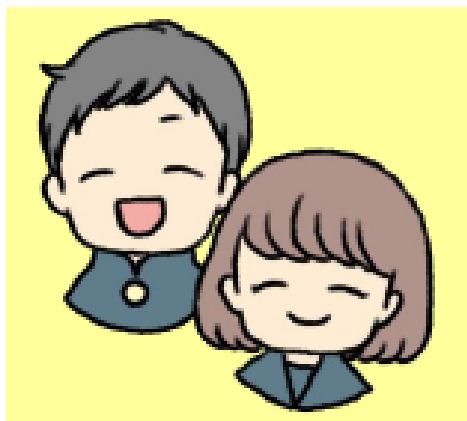


6年後に目指す姿は？



『ありがとう』 言って言われる東村山

第6次地域福祉活動計画の対象は？



子ども・若者
にスポットを当てています

取り組みの4つの柱

子ども・若者×「活躍」

地域活動で、子ども・若者がメリット・やりがいを感じられる仕組みをつくる

子ども・若者×「防災・防犯」

子ども・若者が主体となって 防犯・防災について考え、発信する

子ども・若者×「居場所・交流」

子どもや若者が関わり、国籍が違って、障がいがあってもみんなが来れるほっとできる居場所をつくる

広報・活動支援

「共感から行動へ ありがとうの輪を広げる」取り組み

WE ^{LOVE}  東村山プラン

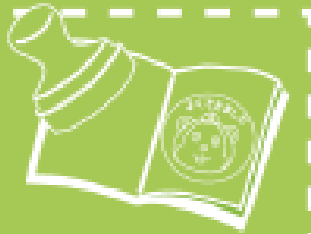


子ども・若者 × 「活躍」

【6年後に目指す姿】

子ども・若者 × 「活躍」

地域活動で、子ども・若者がメリット・やりがいを感じられる仕組みをつくる



子ども・若者 × 「活躍」



■ ボランティア手帳のPRと利用体験者を募集
(夏!体験ボランティア説明会にて)



■ チームメンバーの募集
(東村山市民産業まつり)

子ども・若者 × 「活躍」

【ボラミ (ボランティアミーティング) の開催】

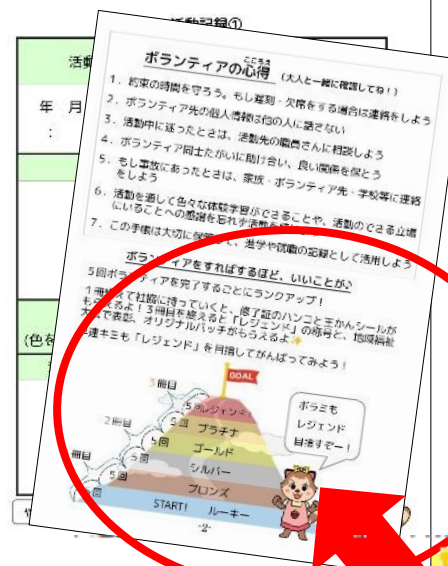


■ 第1回ボラミ



■ ボランティア手帳の作成

活動記録 (記入例)							
活動日	活動先 ○○老人ホーム						
R7年7月25日(金) 9:30~11:30	内容 ・利用者さんとお話 ・レクリエーション(わなげ)						
感想(良かった点・反省点など)							
<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションで利用者さんとたくさん話すことができた ・お話で緊張してしまった。もう少し自分から話しかければ良かった 							
自己評価 (色をぬってみよう！)	<table border="1"> <tr> <td>もう少し！</td> <td>ふつう</td> <td>よかったです！</td> </tr> <tr> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> </tr> </table>	もう少し！	ふつう	よかったです！	★	★	★
もう少し！	ふつう	よかったです！					
★	★	★					
活動先コメント	確認印						
皆さん喜んでいました。ありがとうございました。またぜひ参加してくださいね。	印						



子ども・若者 × 「活躍」

【ボランティア手帳完成!】

冊目

ボランティア手帳

年 月 ~ 年 月



学校名 _____

氏名 _____



■ たくさんの子ども・若者に活用してもらえよう、
今後は普及の取り組みへ

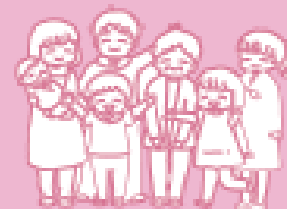
子ども・若者 × 「居場所・交流」

【6年後に目指す姿】

子ども・若者 × 「居場所・交流」

国籍が違っても、障がいがあっても、みんながほっとできる居場所をつくる

子どもや若者が関わり、



子ども・若者 × 「居場所・交流」

①居場所の情報整理シートの作成（学校以外）

	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生	20代～
居場所 になる ところ	児童館	学童	児童館		サークル活動	カラオケ
	子育てひろば	児童館	フリースクール		バイト先	
	どんぐり(萩山)	スポーツクラブ	運動公園・中央公園			
	育児交流会		ダイエー	コメダ珈琲	Free wifiが ある	
	ころころの森	いなげや	カラオケ (勉強をする)			
		イトイン	チョコザップ			
			BOOKOFF・マック			
		スポセン2階フリースペース				
		チルスポット(公民館)				
	図書館 (静かにしないといけない...)					
	こども食堂					
追加 情報	親と一緒に参加をしやすい 色々な場所へ参加をしている		お小遣いがないので、 お店にはいきにくい	公的な 居場所がない	自由に 動きやすい	自由に 動きやすい
	20:00まで空いてほしい!					
ポイント	不登校の子どもたち 居場所につながりにくい、自己肯定感をあげる活動へ繋げる					
ポイント	外国籍の子どもたち 交流をする場がない、言葉が通じない					
ポイント	保護者としては、安心・安全な場所 / 子ども・若者としても安心できる場所 が欲しい					

Free
wifiが
ある

フリードリンクがあると良
子どもから意見が多い!!

ふむふむ...
なるほど!



子ども・若者 × 「居場所・交流」

子ども・若者の居場所(学校以外)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生	20代~
居場所 になる ところ	児童館 子育てひろば どんぐり(鉄山) 育児交流会 ころころの森	児童館 児童館 スポーツクラブ	児童館 フリースクール		サークル活動 バイト先	カラオケ
			運動公園・中央公園			
			ダイエー いなげや イトイン	コメダ珈琲 カラオケ (勉強をする) チョコザップ	Free wifiが ある	
			BOOKOFF・マック			
			スポセン2階フリースペース			フリードリンクがあると良 子どもから意見が多い!!
			チルスポット(公民館)			
			図書館(静かにしないといけない...)			
			子ども食堂			
	追加 情報	親と一緒に参加しやすい 色んな場所へ参加をしている	お小遣いがないので、 お店にはいきにくい	公的な 居場所がない	自由に 動きやすい	自由に 動きやすい
	ポイント		不登校の子どもたち 居場所につながりやすい、自己肯定感をあげる活動へ繋げる			
ポイント		外国籍の子どもたち 交流をする場がない、言葉が通じない				
ポイント	保護者としては、安心・安全な場所 / 子ども・若者としても安心できる場所 が欲しい					

■居場所を整理して分かったこと

○未就学児・小学生 ➡ 公的な居場所がある

○大学生以上 ➡ バイト等で自由度が高い

○中・高校生 ➡ 放課後に安心して過ごせる
公的な居場所が少ない

★居場所には「大人の目があり、子どもが一人で立ち寄れる
安心感」が必要

子ども・若者 × 「居場所・交流」

①関係機関との情報交換

○市の多文化共生係職員に東村山市の現状を伺う

②外国にルーツのある親子への支援の必要性を検討

○身近に相談できる相手がいないと分かった

○交流のきっかけづくりが必要と判断

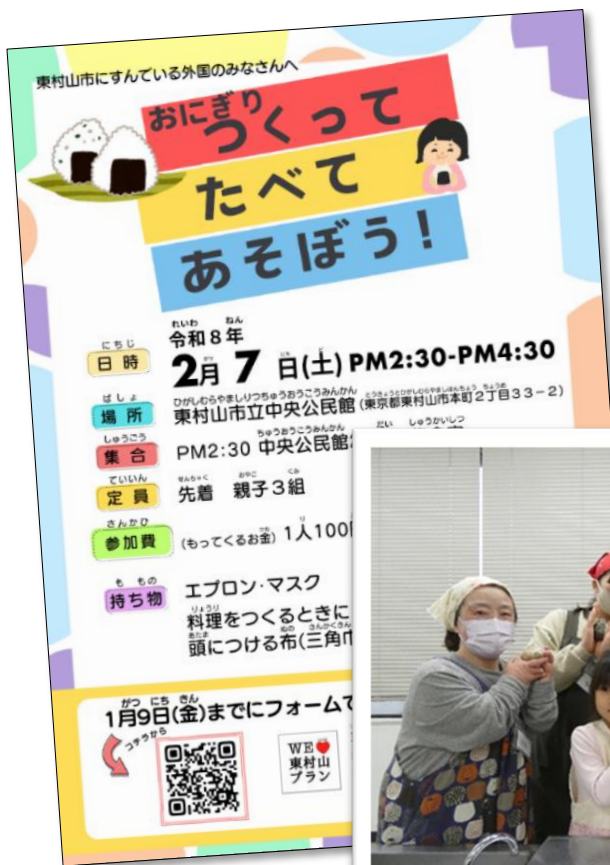
➡イベントの企画

③チームメンバーで「やさしい日本語」を学習



子ども・若者 × 「居場所・交流」

【おにぎり つくって たべて あそぼう】



■参加者の声

- ・楽しかった。また参加したい!
- ・次は日本の文化を知りたい。
- ・家だと野菜を食べないのに、みんなで食べるとういみたい。
- ・言葉の壁で、子どもが病気になっても医者の説明することがとても難しい。
- ・学校から届くお知らせを理解するのが難しい…



(振り返り)

言葉の違いよりも「こうに違いない」という思い込みが交流の壁になっているのかもしれない?!

■2回開催

(外国人親子7組計20名が参加)

子ども・若者 × 「居場所・交流」

【今後の取り組みの方向性】

- ①外国にルーツのある方が多い地域での交流会開催
- ②子ども・若者のボランティア参加を増やす
- ③外国にルーツのある方と繋がれる機会を地域に広げる

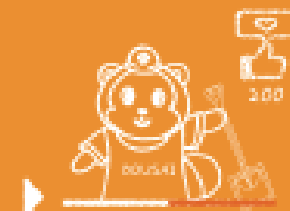


子ども・若者 × 「防災・防犯」

【6年後に目指す姿】

子ども・若者 × 「防災・防犯」

子ども・若者が主体となって防災・防犯について考え、発信する



子ども・若者 × 「防災・防犯」



東村山に住む子ども・若者の多くが災害を経験したことがないため、「防災」に対する意識・必要性を感じにくい…

★まずは防災を優先して取り組むことに!

子ども・若者 × 「防災・防犯」



子ども達の声を集めるために、
学校とのつながりづくりが近道！

■市内の都立高校とのつながり

➡演劇部生徒による**「防犯朗読劇」が完成！**

今後、活用方法を検討していきます。

■防災啓発動画の作成・発信

➡子ども達とつながることが難しい…

★子ども・若者に直接アプローチする企画を実施しよう！

子ども・若者 × 「防災・防犯」

【考えよう!『推し』と備えるあなただけの防災ポーチ】

中学生向け春休みボランティア企画

ありがとう!言って言われる東村山

東村山市第6次地域福祉活動計画
(WE♡東村山プラン)進行中!

子ども・若者×「防災・防犯」チーム

子ども・若者 × 「防災・防犯」
子ども・若者が主体となって
防災・防犯について考え、発信する

チームでは、これまで、高校生や大学生と防災に関する意見交換会を行ってきました。

～子ども・若者の声(一部抜粋)～

- 一人暮らしなので、避難所の確認をしました。10日分の非常食を保存しています
- 出かけるときに「防災ポーチ」を持ち歩くようにしています
- 地域の住民との関係づくりが大切だね!
- 避難所で、子どもたちを遊ばせるような手伝いならできるかも
- 手回しラジオをベッドのわきに置いてあります

子ども、若者の意見をもとに、今回右のような企画を実施します

考えよう!『推し』と備える あなただけの防災ポーチ

何を入れたらいい? 気分がアがる見た目は?
自分に必要なアイテムは? 「推し」しか勝たん。

「防災ポーチ」はカバンに入れて持ち運べる小さな防災セットのことで、大きな災害が起こると、交通や商店などの社会インフラが機能しなくなる可能性があります。そんな時に「防災ポーチ」を持ち歩いておくと、あなたを助けてくれるかも。

防災ポーチの大きさ、形、中身はひとそれぞれ。せっかくなら、好きな色、好きな形、好きな「推し」で備えておきたいですね。

市外に出かけることが多くなってきた世代の皆さんと一緒に、防災について学び、防災ポーチについて考えるボランティア企画です。ぜひ、ご参加ください。

もうすぐ中学生の方もOK!

■対象: 中学生の方
■日時: ①3月27日(金) ②3月31日(火)
両日とも午後1時30分～3時 ※2日間参加してください
■会場: 社会福祉協議会 地域福祉活動室
■参加費: 無料
■定員: 先着15名
■持ち物: 筆記用具
■申込み: 3月2日(月)午前9時～
右記コードからお申込みください。
■問合せ: 東村山市第6次地域福祉活動計画担当
(社会福祉協議会内) ☎042-394-6333
★星びの証として、ご参加の皆さまに記念缶バッジを進呈します★



■内容

(1日目)

- ・東日本大震災の体験談
- ・自己紹介、自分の推し紹介
- ・ワークショップ

(2日目)

- ・参加者の防災ポーチの発表
- ・気づき・今後やってみたいこと
- ・参加記念缶バッジをお渡し

子ども・若者 × 「防災・防犯」

【今後の取り組みの方向性】



企画を通じて分かったこと

- 災害を経験したことのない子ども達は、体験談を聞くことで災害をより身近に考えることができる
- 子ども達が楽しめ、且つ興味をもって防災の大切さを実感できる経験が必要

取り組みの方向性

- 今回のような企画を継続して行い、防災の大切さを実感してもらう。
- 参加者とのつながりを大切に、次の企画の運営側として協力してもらえよう働きかけ、防災について発信できる力をつけていく。



■各自が考えて準備したポーチ

「広報・活動支援」

【6年後に目指す姿】

「広報・活動支援」

「共感から行動へ ありがとうの輪を広げる」取り組み



「広報・活動支援」

【第6次地域福祉活動計画をもっと知ってほしい!】



■進捗状況が分かる「ダイジェスト版を毎年発行



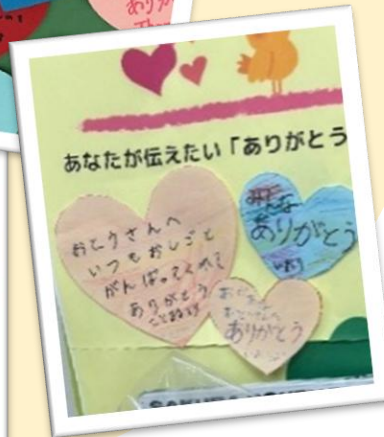
■集まりの場でPR



■福祉だよりへの掲載

「広報・活動支援」

【「ありがとう！」ひと言メッセージプロジェクト】



【笑顔で伝える『ありがとう!』ポスター募集】



■ 市民産業まつり 2日間で206名が参加

「広報・活動支援」

【今後の取り組みの方向性】

- 現在実施している、「笑顔で伝える『ありがとう』ポスター募集」の応募作品を活用してPRすることで普及啓発につなげていく。
➡今後、ポスターコンテストなど、新たな展開へ!
- 着実な推進をはかるため、学校へのアプローチと並行して、福祉協力員会に働きかけていく。
- 同じ主旨で既に地域で活動している団体とつながりながら、活動の輪を広げていく。

皆さまのお力・アイデアをまちづくりに！

子ども・若者がまちづくりに関われるしくみを一緒に作り、「ありがとう！」があふれる東村山にしていきましょう！



ご清聴、有難うございました